

統計委員会基本計画部会第2ワーキンググループ会合（第16回） 議事概要

- 1 日 時 平成20年7月18日（金）10:00～12:50
- 2 場 所 中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室
- 3 出席者 舟岡委員（座長）、阿部委員、岩本委員、黒田委員、田辺委員、富浦委員、中村委員、野村委員、櫛委員、三輪委員、門間委員、山澤委員
内閣府、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、日本銀行、東京都、埼玉県

【事務局】

中島内閣府統計委員会担当室長、長谷川内閣府統計委員会担当室参事官
中田総務省政策統括官、犬伏総務省政策統括官付統計審査官

- 4 議 事 （1）労働統計について
（2）ストック統計について
（3）報告書骨子案について
（4）その他

5 議事概要

（1）労働統計について

阿部委員から、資料1に基づき、「労働統計の整備」について、説明があった。主な質疑は以下の通り。

- ・ 毎月勤労統計調査、賃金構造基本統計調査等のリンケージについて、大規模事業所については、現在でもリンクできないことはないと思うが、小規模事業所については、現在特殊な抽出方法を行っており、かなり難しいという印象がある。
- ・ 地域別失業構造の把握については、「雇用保険事業月報」の業務データに基づくものの等について、現在でも各地方の労働局では独自につくっているところもあるので、ある程度、体制の整備が図られれば、可能性はあるのではないか。
- ・ 毎月勤労統計調査における未充足求人数の把握や、断層をなくするためのサンプル替えの工夫という指摘については、いずれも記入者負担に繋がることから、この点を考慮した検討が必要。

（2）ストック統計について

野村委員から、資料2に基づき、「資本ストック統計の方法論と基礎統計整備」についての説明があった。主な質疑は以下の通り。

- ・ 固定資本ストックマトリックスの開発について指摘されているが、検討する場合は、国民経済計算部会の下のストック専門委員会になるのか。
- ・ 各府省が作成する加工統計について、検討段階から一緒に議論できるような場として、既存のストック専門委員会が機能するのであれば、体系的な議論ができるという意味で望ましい。
- ・ 設備投資調査が統計情報として不足していることは事実であり、これをどう整備するかということについて、何か具体的な提案はあるのか。
- ・ 現状でも固定資本マトリックスの小型版みたいなものが一応形成されているので、より体系的な視点からどのように整備するかを、もう少し具体的に検討したい。
- ・ 予算その他の制約はあるが、細かい財別の投資額となると、現在、一番細かい区分で調査をしているのが民間企業投資・除却調査であるので、将来的にこの調査の充実を図ることが一番現実的な手段なのではないか。
- ・ スtock統計の改善については、年報の純固定資産、民間企業資本ストックの抜本的な質の改善に向けたプロジェクトを立ち上げ、国富調査を使わないP I Mによる推計方法に変えるべく、民間企業投資・除却調査の実施等を通じて検討を行っているところ。

(3) 報告書骨子案について

事務局から、資料4に基づき、「WG2 報告 骨子案(目次)改訂版」についての説明があった。主な質疑は以下の通り。

- ・ 2のタイトルについては、何を書くところかということを明確にする必要があるのではないかと。ここは、国民経済計算を主軸にしたタイトルの方がいいと思っており、例えば、「国民経済計算の改善及びそれに関連する統計の体系的整備」として、目的は国民経済計算の改善であって、それに関連する統計を体系的に整備していくんだ、というふうに整理する方がすっきりするのではないかと。
- ・ 4の中身として、重要性を増す分野、サービス、経済社会の変化というネーミングがつけられているが、このグルーピングでうまくなじむのか。最初以外のものも重要性が増すから重点的整備を行うのではないかと。今回、タイトルが3と4が分離したことを受けて、もう一回検討する必要があるのではないかと。
- ・ サービスの計測の問題は、単に統計を整備すればいいという話ではもともとないので、何かサービスの計測自体に関する研究の設置等のワーディングも含めた形で、4の中に書いておく必要があるのではないかと。
- ・ 経済統計として整備するときに、産業分類というのは一つの重要な基準であり、その基準に何かの問題があるとしたら、報告書の中で言及しておく必要があるのではないかと。
- ・ 統計基準として設定されるものについては既に第1ワーキンググループで議論さ

れており、また、統計基準の設定に当たっては、統計委員会のもとで別途審議する場が設けられることになるので、このワーキンググループでの検討課題として適当かどうかは疑問。

(4) その他

資料5「「質の評価の困難なサービス活動」等を捉える統計を構築する方策」について、意見交換を行った。主な質疑は以下の通り。

- ・ どのようなニーズがサービス統計にあるかということをきちんと調べるべきという提案そのものは重要なことであるが、基本計画の中に、そのニーズを一つひとつ書くということは基本計画の趣旨になじまないのではないか。
- ・ 基本計画の中には、今回の報告の中にある問題認識や問題提起のうち、検討の方向性など、必要な部分について取り込まれていくのではないか。

資料7「SNA推計のための基礎統計の整備(確報)」について、意見交換を行った。主な質疑は以下の通り。

- ・ 国民経済計算部会の下にさまざまな専門委員会をつくって、その専門委員会の一つとして産業連関表も検討していくという点について、今の産業連関表はSNAの一部とは形式上になっていないので、産業連関表についての議論を深めるに当たっては、もう少しオープンなやり方を考えてもいいのではないか。
- ・ 今あるシステムのもとで、有機的な議論をするために、体系的な整備が長期的に結びつくような検討システムはないかということを検討しており、専門委員会の設置自体が目的ではない。
- ・ いわゆる確報について、これを生産動態統計で推計することは受け入れがたいと、かなり強いトーンで記述されているが、ここは今後のセンサスのやり方についての議論の中で、どういう選択肢があり得るのか、オープンに模索していくべきではないか。
- ・ 国民経済計算、産業連関表、一次統計の作成部局、こういうところが集まって精度向上のあり方の検討をする場所を設ける必要があると考えるが、それを統計委員会の下に置くということになると、いわゆる諮問答申型審議会の関係の制約があり、フレキシブルに議論を行うことが難しいのではないか。
- ・ 統計委員会の下に検討の場を置くべきではないとのことであるが、統計法第55条の規定により、基本計画の進捗についての評価を行うということであれば、統計委員会の中で審議を行うことも可能ではないか。
- ・ 国民経済計算部会の下に産業連関表専門委員会を設けることには基本的に賛成。現在の検討体制は一次統計と加工統計についての検討窓口が兼務されており、産業連関表作成側の問題意識や懸念がしかるべき検討の場に提供されることが困難にな

っているのではないか。

- ・ 産業連関表の推計方法の見直しについては、現段階でまだ一次統計として十分に整備がされていないという状況を考えると、直接X表を推計し、基本表を作成するというやり方の方が、現状においては正確に把握できるのではないか。
- ・ 日本のX表は、外国から批判されることも多々あるように、十分なものではないと認識している。もし本当にX表をつくるのであれば、極めて抜本的な統計調査の体系のシステムを作る必要があるのではないか。
- ・ 投入調査の見直しについては、予算の制約や記入者負担の問題もあり、対象数の拡大には限界があるため、改善の方向性として、少ないサンプルで良好な代表性を確保できるような方法を検討していくということになるのではないか。
- ・ 投入調査の改善そのものを検討することは非常にいいことであるが、それをやっていく中で、記入者に対して二重の負担をかけるのではなくて、1回の中でやっていけるような形を考えれば、経済センサスの設計というもののの中につながっていく議論もあるのではないか。
- ・ 平成23年に予定されている経済センサス活動調査では、10万人の調査員を動員し、そこで数十種類の調査票を産業分類ごとに配り分けるということを予定した極めて大規模な調査であり、その中で更にまたロング、ショートなどで詳細な調査票を配ることは、極めて難しいと考えている。
- ・ 産業分類の基準の一つとして財貨、サービスの種類があり、これには需要サイドの観点がかかり入っている。この考え方は、国際標準産業分類でも適用されている。NAICSも大分類を増やすという過程で財、サービスの同質性ということで分類を立て、そこから更に精緻化するというときに、供給サイドについての考え方をより前面に押し出したものであるが、国際標準産業分類はこの考え方を取り入れていない。
- ・ 国際標準産業分類の2重コード化については、SNAの改訂の議論の中で、事業所として独立した補助単位については、その補助単位の活動として分類するという形になっており、国際標準産業分類Rev.4としては、二重コードを取る理由がないように見えるので、現時点の状況について、確認した方がよいのではないか。

次回の会合は、「報告書骨子案」をテーマとして、7月24日（木）10：00から中央合同庁舎4号館共用第1特別会議室で開催。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>